

第55期中間報告書

平成20年4月1日～平成20年9月30日

■ 株主メモ ■

事業年度	4月1日から3月31日まで
基準日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 期末 3月31日 中間 9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問合せ先)	T530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 株式関係のお手続き用紙のご請求は、以下の三菱UFJ信託銀行の 電話およびインターネットでも24時間承っております。 電話 (通話料無料): 0120-244-479 (本店証券代行部) 0120-684-479 (大阪証券代行部) インターネットホームページ: http://www.tr.mufg.jp/daikou/
公告方法	電子公告 ホームページ: http://www.soft99.co.jp/ir/koukoku.html 電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載いたします。 ※ 当社の貸借対照表、損益計算書はEDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム)にて開示しております。
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	株式会社東京証券取引所市場第二部
インターネットホームページ	http://www.soft99.co.jp

【株券電子化実施に伴うお知らせ (平成21年1月5日施行)】

株券電子化前後における単元未満株式買取・買増のご請求について
株券電子化の前後においては、単元未満株式買取請求および買増請求につきまして、以下のとおりとなりますので、
ご注意ください。

- (1) 証券保管振替制度をご利用でない単元未満株式に関するご請求
 - ① 単元未満株式買取請求
平成21年1月5日(月)から平成21年1月25日(日)までは、受付をいたしません。
また、平成20年12月25日(木)から12月30日(火)までのご請求受付分につきましては、買取価格はご請求受付日の終値を適用いたしますが、買取代金のお支払いを平成21年1月30日(金)とさせていただきます。
 - ② 単元未満株式買増請求
平成20年12月12日(金)から平成21年1月25日(日)までは、受付をいたしません。
- (2) 証券保管振替制度をご利用の単元未満株式に関するご請求
株券電子化実施の前後において、一定期間お取引の証券会社で取次ぎを行わないと承っております。具体的な日程につきましては、証券会社により異なることが考えられますので、お取引の証券会社にお問い合わせください。

<ご参考>

株券電子化に関する詳細につきましては、証券決済制度改革推進センターのホームページに掲載されたQ&A (<http://www.kessaicenter.com/kaikaku/kabuken10aa.pdf>) 等をご参照ください。

また、株券電子化に関するご質問・ご相談は、
「株券電子化」なんでも相談窓口(「株券電子化コールセンター(*)」)

電話 0120-77-0915 (通話料無料。平日・土曜/9:00~17:00)までお問い合わせください。

(*) 株券電子化コールセンターは、(株)証券保管振替機構、日本証券業協会、(株)東京証券取引所が共同で運営する株券電子化についての相談窓口です。

SOFT99は「おもろい」を大切に 創造力をもって、新しいことへの チャレンジを続けます。



代表取締役社長兼会長 田中 明三

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社は平成20年4月より第2次中期経営計画「Spiral Up “NEXT”」をスタートし、付加価値の創出を意識した“新しいこと”へのチャレンジを続け、時代の変化に敏感に対応しグループ内各事業の特色や技術を活かしながら、創造性のある製品・サービスの提供に取り組んでまいりました。

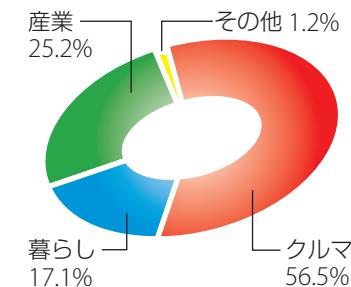
当第2四半期累計期間においては、原材料価格高騰による諸物価の上昇で個人消費が低迷するなど市場環境は一層厳しくなるなか、「Spiral Up “NEXT”」の取り組みは少しずつではありますが、その成果が見えてきております。しかしながら、米国のサブプライムローン問題に端を発する世界的な金融不安の影響を受け、保有株式の大幅な評価損など特別損失の計上を余儀なくされたことにより、前中間連結会計期間と比較して増収減益と残念な結果となりました。

今後も「Spiral Up “NEXT”」の取り組みを継続し、新しいフィールドで付加価値の高いビジネスモデルを構築して、経営環境の変化に柔軟に対応すべく、人材・技術力・営業力・財務力といった経営資源を更に有効に活用してゆく所存です。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともご支援とご協力を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

平成20年12月

売上高構成比



当第2四半期連結累計期間は、原材料価格の高騰による物価上昇や、米国発の世界的な金融不安に端を発する企業業績の悪化や個人消費の低迷などの厳しい経営環境のなか、当社グループは、各事業においてその特色や技術を活かしながら「新しいこと」にチャレンジし、お客さまに製品・サービスにおいて新しい付加価値を提供することを旨として営業活動に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高10,901百万円、営業利益802百万円、経常利益927百万円、第2四半期末の株式市場の低迷による投資有価証券の評価損と子会社において老朽化した社宅を取り壊したことによる除却損を特別損失として計上したこともあり、四半期純利益は34百万円となりました。

なお、文中の前期比較につきましては、前中間会計期間と比較しております。

クルマ

- カー用品市場の縮小傾向が続くなか、第2四半期は、業務用商品・消費者向けカー用品・家庭用品とも販売が順調に推移。しかし、第1四半期の既存品の苦戦をカバーしきれず、製品販売事業は減収減益。
- 自動車関連サービスは、第1四半期の在庫が順調であったことと、工場の効率化がすすんだことにより増収増益。
- 自動車教習事業は、近隣校の価格攻勢等を要因に普通免許の入所者獲得が苦戦し、職業免許でカバーしきれず減収となり損失幅を拡大。
- これらの結果、当第2四半期連結累計期間におけるクルマ事業部門の売上高は6,156百万円、営業利益は219百万円と減収減益。



暮らし

- 温浴事業は、スーパー銭湯ブームの沈静化により来客数が減少して減収となり、費用の削減もすすめましたが、減収をカバーしきれずに損失を拡大。
- 生協向けの企画販売事業は、独自商品の発掘と提案力強化の取り組みが功を奏し、企画の採用率が好転して増収となり、のれん償却も前期末で終了したこともあり増益。
- これらの結果、当第2四半期連結累計期間における暮らし事業部門の売上高は1,867百万円、営業利益は10百万円と増収増益。



産業

- 産業資材部門は、ブラシローラーや吸水ローラーが好調に推移し、ハードディスク向け砥石においても前年並みに推移。
- 生活資材部門は、水泳関連商品や屋外作業用品が引き続き好調に推移したほか、クルマ向けの吸水セームの販売が海外の旺盛な需要により大幅に増加し増収増益。
- これらの結果、当第2四半期連結累計期間における産業事業部門の売上高は2,747百万円、営業利益は486百万円と増収増益。



連結財務諸表

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

■ 四半期連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	当第2四半期末 (20.9.30 現在)	前中間期末 (19.9.30 現在)	前期末 (20.3.31 現在)
◆ 資産の部 ◆			
流動資産	13,433	12,179	12,697
現金及び預金	7,184	5,925	6,670
受取手形及び売掛金	3,230	3,215	3,262
有価証券	400	400	300
たな卸資産	1,994	1,993	1,910
その他	624	646	553
固定資産	30,845	32,279	31,313
有形固定資産	24,026	24,275	24,245
建物及び構築物	6,313	6,725	6,510
土地	15,753	15,413	15,821
その他	1,959	2,137	1,913
無形固定資産	210	309	251
のれん	17	88	36
その他	193	220	215
投資その他の資産	6,607	7,694	6,816
投資有価証券	4,834	5,888	4,984
その他	1,773	1,806	1,831
資産合計	44,278	44,459	44,011

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

科目	当第2四半期末 (20.9.30 現在)	前中間期末 (19.9.30 現在)	前期末 (20.3.31 現在)
◆ 負債の部 ◆			
流動負債	3,020	2,602	2,787
支払手形及び買掛金	1,167	982	1,038
未払金及び未払費用	1,151	921	995
その他	701	698	753
固定負債	2,127	2,206	2,115
退職給付引当金	863	847	801
その他	1,263	1,359	1,314
負債合計	5,147	4,809	4,902
◆ 純資産の部 ◆			
株主資本	39,272	39,379	39,455
資本金	2,310	2,310	2,310
資本剰余金	3,116	3,116	3,116
利益剰余金	34,095	34,130	34,246
自己株式	△ 249	△ 177	△ 217
評価・換算差額等	△ 336	76	△ 558
その他有価証券評価差額金	△ 195	206	△ 419
土地再評価差額金	△ 207	△ 207	△ 207
為替換算調整勘定	66	77	67
少数株主持分	195	193	211
純資産合計	39,131	39,649	39,108
負債・純資産合計	44,278	44,459	44,011

■ 四半期連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	当第2四半期（累計） (20.4.1 から 20.9.30 まで)	前中間期 (19.4.1 から 19.9.30 まで)	前期 (19.4.1 から 20.3.31 まで)
売上高	10,901	10,657	21,487
売上原価	7,129	7,007	14,111
売上総利益	3,771	3,650	7,376
販売費及び一般管理費	2,968	2,984	5,898
営業利益	802	666	1,477
営業外収益	132	174	311
営業外費用	7	3	22
経常利益	927	837	1,766
特別利益	10	13	20
特別損失	544	47	144
税金等調整前四半期（当期）純利益	393	803	1,642
法人税、住民税及び事業税	477	380	777
法人税等調整額	△ 125	36	159
少数株主利益（控除）	7	15	33
四半期（当期）純利益	34	370	672

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

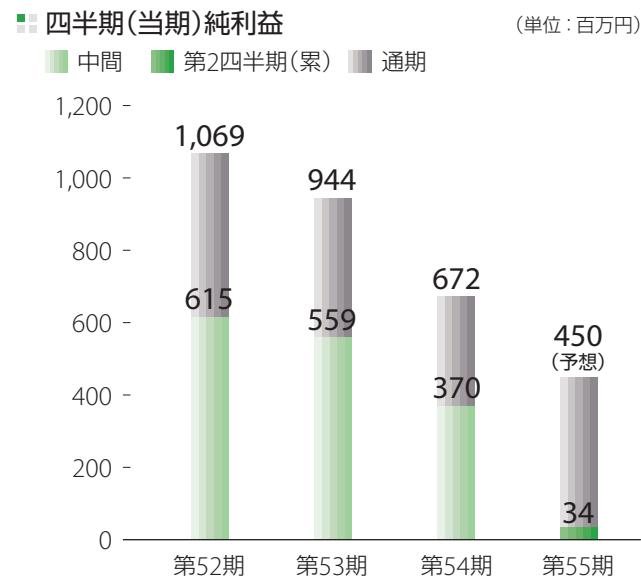
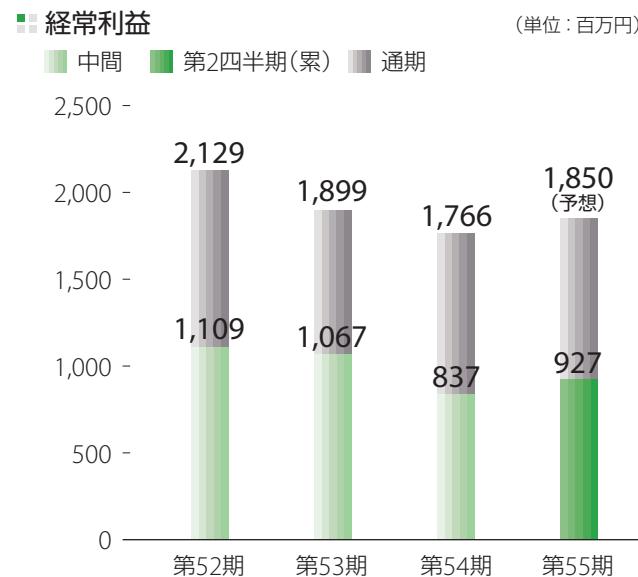
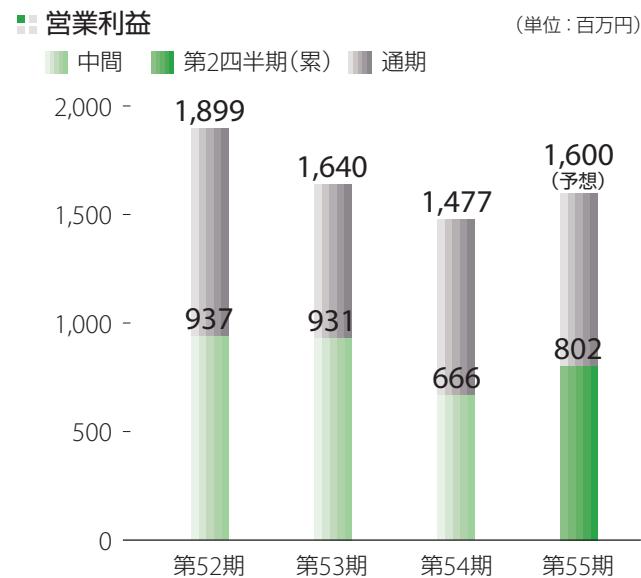
（単位：百万円）

科目	当第2四半期（累計） (20.4.1 から 20.9.30 まで)	前中間期 (19.4.1 から 19.9.30 まで)	前期 (19.4.1 から 20.3.31 まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	990	852	2,292
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 279	△ 529	△ 990
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 233	△ 232	△ 459
現金及び現金同等物に 係る換算差額	0	4	1
現金及び現金同等物の 増加額	476	94	845
現金及び現金同等物の 期首残高	6,545	5,699	5,699
現金及び現金同等物の 四半期末（期末）残高	7,021	5,794	6,545

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

当冊子の表記につきまして

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」を適用しております。従いまして、当四半期財務情報と前年同期財務情報とでは、作成基準が異なるため前年比較に関する情報は参考として記載しております。

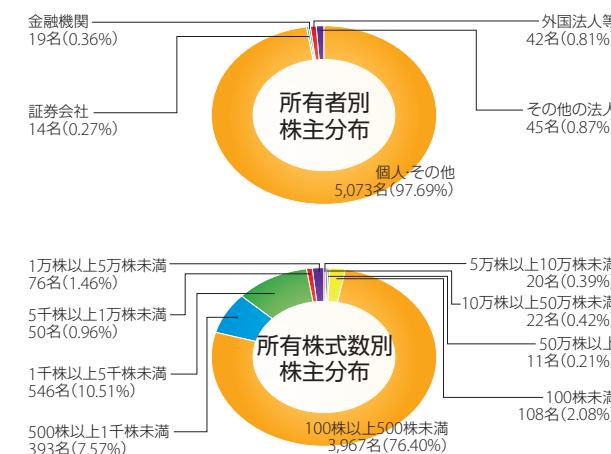


■ 株式の状況 (平成20年9月30日現在)

株式の総数
発行可能株式総数 60,000,000株
発行済株式の総数 22,274,688株

株主数
当第2四半期末株主数 5,193名

大株主	持株数	議決権比率
サントレード株式会社	3,354,528株	15.3%
田中 秀明	1,496,976	6.8
鈴木 幹子	1,492,656	6.8
ロイヤルバンクオブカナダトラス トカンパニーケイマンリミテッド	948,400	4.3
株式会社三菱東京UFJ銀行	899,200	4.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	831,000	3.8
株式会社みずほ銀行	709,600	3.2
田中 信	603,720	2.7
佐藤 佐世子	594,192	2.7
田中 明三	552,424	2.5



■ 会社の概要 (平成20年9月30日現在)

商号 株式会社ソフト99コーポレーション
設立 昭和29年10月28日
本社 大阪市中央区谷町二丁目6番5号
資本金 2,310,056,000円
従業員数 197名
事業内容 自動車用化学製品の製造および販売

■ 役員 (平成20年9月30日現在)

代表取締役社長兼会長 田中 明 三
専務取締役 土堤内 清 嗣
常務取締役 橋本 欽 司
取締役 平野 泰 彦
取締役 辻 平 春 幸
取締役 西川 保
取締役 渡辺 泰
取締役 奥 埜 佳 秀
取締役 田中 秀 明
取締役 田中 信
常勤監査役 赤 星 学
監査役 平 井 康 博
監査役 柏 岡 勲
監査役 岸 田 靖 雄